

# 全人教育における学びとは

## 主体的・対話的で深い学びの実現に欠かせない要素とはなにか？

学習指導要領改訂の背景には、子どもたちに、情報化やグローバル化などの急激な社会的変化の中でも、未来の創り手となるために必要な資質・能力を確実に備えることのできる学校教育を実現することが重視されています。次期学習指導要領が目指すのは、学習の内容だけではなく、学習の方法も重視し、子どもたちの学びの過程を質的に高めていくことです。IB教育もこのような全人的な発達に焦点をあて、さらに国際的な視野を育成することに主眼を置いてきました。知的発達や人格的成長、情緒や社会性の発達に力を入れると同時に「言語」「人文科学」「理科」「数学」「芸術」「保健体育」の各教科の学習にも取り組むことを伝統とし、子どもたちは様々な学習に励んでいます。そこで、今年度は「全人教育における学び」を中心に考えて参ります。IBをすでによく理解された方から、これからIBを勉強しようとする方まで、IB教育の真髄を理解する素晴らしい機会となるようプログラムを構成しました。今年度の午後の分科会では、IBグローバルセンター・シンガポールのマネージャーや、日本のIB認定校の教育実践者、ならびに玉川大学・玉川学園のIBプログラムに在籍している大学院生や生徒が、さまざまな体験的な学びの時間を用意していますので、ぜひご参加ください。

2017年 **11月25日** **土** 9:30～16:00 (受付開始 9:00)

会場：玉川学園 対象：午前〈教育関係者・一般〉  
午後〈教育関係者・一般〉

事前申込制(参加費：無料)  
定員350名

<http://www.tamagawa.ac.jp/ib2017>



Date: Saturday, November 25th, 2017  
Venue: Tamagawa Academy  
Free Admission

### プログラム

※当フォーラムの内容は、予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。

#### 午前 〈対象：教育関係者・一般〉

玉川大学 University Concert Hall 2016

09:30～11:40

##### 挨拶

石塚 清章 (学校法人玉川学園・理事)  
文部科学省

##### 基調講演

生田 研一 (文部科学省国際統括官付)  
「今後の国際バカロレア教育の普及促進に向けて」

アシッシュ トリヴェティ  
(IB グローバルセンター・シンガポール, DLDP Project Manager)  
「Holistic Learning through International Baccalaureate Programmes」

佐久間 裕之  
(玉川大学教育学部教授・全人教育研究センター長)  
「国際バカロレアと全人教育」

休憩 (11:40～12:00)

12:00～13:00

##### 対談

玉川K-16コラボレーション企画  
「タマトーク！」  
(玉川学園IB卒業生と玉川大学IBEC履修生との対談)

お昼休み (13:00～14:15)

#### 午後 〈対象：教育関係者・一般〉

玉川学園 高学年校舎・サイテックセンター

14:15～16:00

##### 分科会A

Q&A：日本におけるIB導入と推進について  
アシッシュ トリヴェティ  
(IB グローバルセンター・シンガポール, DLDP Project Manager)

##### 分科会B

ワークショップ：よりよい高大接続のための学校と大学の語り  
ステファニー レオング (エマニュエル モレノ, 星野あゆみ)  
(IB グローバルセンター・シンガポール, Head of Development and Recognition)

##### 分科会C

ワークショップ：PYP体験セミナー  
西多 美保  
(東京インターナショナルスクール 教諭)

##### 分科会D

ワークショップ：MYP体験セミナー  
鮫島 朋美  
(東京学芸大学附属国際中等教育学校 教諭)

##### 分科会E

ワークショップ：DP体験セミナー  
遠藤 みゆき  
(関西学院大阪インターナショナルスクール 教諭)

##### 分科会F

発表：玉川大学 IB Educator Certificate  
富田 千暁  
(玉川大学大学院教育学研究科国際バカロレア研究コース履修生)

##### 分科会G

発表：生徒の視点からみたIB教育における指導と学習  
玉川学園国際バカロレアコース生徒

16:00～16:40

##### 情報交換会

# 参加案内

主催：玉川大学 学術研究所 K-16 一貫教育研究センター  
共催：国際バカロレア機構アジア太平洋地域事務局

2017年11月25日(土)

## 第10回 玉川大学 国際バカロレア教育フォーラム

テーマ

全人教育における学びとは

主体的・対話的で深い学びの実現に欠かせない要素とはなにか？



お申し込みURL

<http://www.tamagawa.ac.jp/ib2017>



フォーラム終了後、情報交換会を行います。

※(参加費無料)情報交換会は分科会開催校舎にて  
16:00~16:40を予定しています。



アクセス：小田急小田原線「玉川学園前」駅下車

※当日は駐車場がございませんので、公共交通機関をご利用ください。

●申込締切：2017年11月15日(水)

●定員(350名)になり次第、  
お申込みを締め切らせていただきます。

※昼食の準備はございませんので、各自でご用意をお願いいたします。

※個人情報利用目的内での提供にご同意の上、お申し込みください。お申込みの氏名・住所等の個人情報は、本フォーラムに係る連絡、今後開催されるIB教育関係のご案内を目的とした利用以外には一切使用いたしません。

### 講演者および分科会発表者プロフィール

#### 生田 研一 氏

東京大学大学院総合文化研究科修士課程修了、エモリー大学ゴイズエタビジネススクール修士課程修了(MBA)。文部科学省入省(2008年4月)後は、初等中等教育(児童・生徒の安全管理、保健教育等)、文化行政(ICT技術の進展への著作権制度の対応、一般的な文化行政の施策に係る企画・立案)、新卒就職支援(厚生労働省に出向)等に携わる。2017年5月より現職。現在の業務としてはSDGSの普及促進、ユネスコ関連業務および国際バカロレア教育の普及促進等を担当。

#### アッシュ・トリヴェティ 氏

IBグローバルセンター・シンガポール勤務のIBワールドスクール部門マネージャーおよび文科省-IBデュアル・ランゲージ・ディプロマ・プログラム・プロジェクト主任。インド、インドネシアおよび日本での13年間の教員生活の後、2008年からIB職員として様々な業務に携わってきた。現在はアジア太平洋地域の150校以上のインターナショナル・スクールでの300を超すIBプログラムの実践の監督責任者である。インドの大学で理科教育の修士号を取得、インドとオーストラリアの大学で教育学修士を取得、そして現在、シンガポールの国立教育学院(the National Institute of Education, Singapore)にてIB教育関連で博士課程在籍中。

#### 佐久間 裕之 氏

玉川大学教育学部教授、全人教育研究センター長。研究分野は教育哲学・西洋教育史。主な研究テーマは新教育運動の歴史・思想に関するもので、特に国際バカロレア教育の理念につながるドイツ田園教育塾(ヘルマン・リーツ、クルト・ハーン)と全人教育(小原國芳)の研究およびイェナ・プラン研究(JSPS科研費基盤研究)に取り組んでいる。近著: Educational Progressivism, Cultural Encounters and Reform in Japan (Routledge, 2017/共著)、『教育学の歴史』(青土社, 2015/共訳)、『教育原理』(玉川大学出版部, 2015/編著)など。

#### ステファニー・レオング 氏

IBグローバルセンター・シンガポール勤務のアジア太平洋地域開発マネージャー。教育管理に関する15年以上の経験をもつ。オーストラリアの大学で商業と情報技術を中心に教鞭をとり、また5歳から19歳の児童生徒に国際的な資格を授与する国際教育機関に勤務した後、2012年からIB職員となる。

IBではIBのプログラムとIBのサービスを新しい市場において発展させるべく地域に根ざした戦略を開発および展開するのが主な業務。IBの地域開発部門はステークホルダーである多くの学校、政府、高等教育機関、各種関連団体、企業などとの関係を管理および維持することを重視している。

#### 星野 あゆみ 氏

IB日本担当地域開発マネージャー、玉川大学大学院教育学研究科教授。日本のIB校での10年の教員生活後、2013年よりIB機構の職員(非常勤)となり、新たにIBワールド・スクールを目指す一条校の支援を主たる業務としている。東京学芸大学附属国際中等教育学校ではMYP英語教員、MYPコーディネーター、DPコーディネーター、副校長を歴任。IB日本語翻訳チームに所属した経験があり、ワークショップリーダーとしても活動中。

#### 西多 美保 氏

モナシュ大学大学院(オーストラリア)日本語応用言語学修士課程修了。ウェズリーカレッジ(オーストラリア)初等教育プログラム(PYP)日本語教師を経て、現在東京インターナショナルスクールPYP日本語教師。PYPワークショップリーダー。

#### 鮫島 朋美 氏

東京学芸大学附属国際中等教育学校教諭。東京学芸大学教育学部中等教育教員養成課程理科専攻化学選修卒業、東京学芸大学大学院教育学研究科理科教育専攻修士課程修了。私立森村学園中等部高等部教諭を経て、東京学芸大学附属国際中等教育学校教諭、MYP Sciencesを担当して10年、昨年度よりDP Chemistryも担当。

#### 遠藤 みゆき 氏

シドニー大学大学院応用言語学修士課程修了。日本で国語教育に従事した後、海外でIB教育に触れ共感したことから以後20年以上に渉ってIB教育に携わる。日本語A 試験官。日本語A/B、DPコーディネーター、管理職向けワークショップリーダー。関西学院大阪インターナショナルスクール(OIS)にてDPコーディネーターを務めた後、現在はOIS DP教員兼関西学院大学国際教職プログラム開講準備委員会委員。